

ぎふ感染症かわら版

平成 29 年 7 月 28 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



マダニが媒介する感染症に注意しましょう

マダニを介してうつる**重症熱性血小板減少症候群（SFTS）**という感染症があります。主にウイルスを保有するマダニにかまれることで感染する病気ですが、昨年夏に、野良猫にかまれた後、SFTS を発症して亡くなった方がいたことがわかりました。猫が SFTS に感染していたかどうかは確認できていませんが、猫には SFTS の症状があり、猫にかまれたことで感染した可能性があると考えられています。

どんな病気？

SFTS ウイルスによる感染症で、初期症状は発熱やだるさなどで、重症化すると死亡することもあります。

国内では、2013 年に初めて患者が確認されて以降、西日本を中心に毎年 60 人前後の患者が報告されています。岐阜県では、これまで患者の報告はありません（2017 年 7 月 27 日時点）。

なお、マダニの SFTS ウイルス保有率は、高くても数%といわれています。



イノシシに付いていた吸血後のマダニの写真（大きさ 500 円玉程度）

マダニにかまれないようにするには？

マダニは、野山や草むら、やぶに多く生息し、人や動物を吸血します。野山などに行くときは、**長袖・長ズボン**を着用し、裾は靴下の中に入れ、**首にタオルを巻く**など、少しでも**肌を出さない**よう心がけましょう。DEET（ディート）という成分を含む**虫よけ剤**も一緒に使うと効果的です。



動物からの感染を防ぐには？

SFTS がペットの犬や猫からうつることはまれと考えられています。また、マダニは屋外に生息しているので、室内のみで飼っている猫から感染する心配はありません。

ただし、動物からうつる他の感染症を予防するためにも、食事の口移しなど**過剰なふれあいは避け、動物に触ったら手を洗い**ましょう。ペットには薬などでダニの駆除を行い、体調が悪い時は動物病院でみてもらいましょう。また、野生動物には触らないようにしましょう。



★ 動物からうつる感染症については、[平成 29 年 4 月 28 日発行の「ぎふ感染症かわら版」](#) もご覧ください。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

